

たてばやしの都市計画・資料編

館林市 都市建設部 都市計画課

平成28年 4月 1日 更新版

## 人 口

## (1) 人口の推移

年次	人 口 (人) ※外国人除く			世帯数	人口 密度 人/㎢	一世帯 人員 (人)	備 考
	総 数	男	女				
昭和29年	56,381	27,298	29,083	10,887	935	5.18	※1
昭和30年	56,407	27,070	29,337	10,880	930	5.18	
昭和35年	55,684	26,552	29,132	11,569	916	4.81	
40年	57,317	27,450	29,867	13,076	942	4.38	※2
45年	61,130	29,584	31,546	15,059	1,005	4.06	※2
50年	66,410	32,199	34,211	17,630	1,092	3.77	※2
55年	70,245	34,281	35,964	19,695	1,155	3.57	※2
60年	75,141	37,117	38,024	22,212	1,235	3.38	※2
61年	75,791	37,571	38,220	22,558	1,246	3.36	
62年	76,060	37,758	38,302	22,819	1,250	3.33	
63年	76,095	37,876	38,219	23,056	1,251	3.30	
平成元年	76,226	37,950	38,276	23,320	1,253	3.27	
2年	76,221	37,810	38,411	23,278	1,250	3.27	※2
3年	76,829	38,257	38,572	23,966	1,260	3.21	
4年	77,183	38,484	38,699	24,419	1,266	3.16	
5年	77,335	38,554	38,781	24,767	1,268	3.12	
6年	77,484	38,614	38,870	25,113	1,271	3.08	
7年	76,857	38,129	38,728	24,791	1,260	3.10	※2
8年	77,748	38,794	38,954	25,776	1,275	3.02	
9年	78,172	39,014	39,158	26,246	1,282	2.98	
10年	79,712	39,829	39,883	27,687	1,307	2.98	
11年	79,855	39,883	39,972	27,879	1,309	2.86	
12年	79,369	39,580	39,789	27,604	1,302	2.88	※2
13年	79,523	39,770	39,753	28,185	1,304	2.82	
14年	79,369	39,692	39,677	28,326	1,302	2.80	
15年	79,465	39,798	39,667	28,719	1,303	2.77	
16年	79,214	39,633	39,581	28,974	1,299	2.73	
17年	79,454	39,491	39,963	28,873	1,303	2.75	※2
18年	78,454	39,368	39,377	29,431	1,291	2.68	
19年	78,597	39,322	39,275	29,704	1,289	2.65	
20年	78,405	39,215	39,190	29,997	1,285	2.61	
21年	78,404	39,293	39,111	30,376	1,286	2.58	
22年	78,608	39,238	39,370	29,581	1,289	2.66	※2
23年	77,984	39,109	38,875	30,619	1,279	2.55	
24年	77,494	38,883	38,611	30,899	1,271	2.51	
25年	76,918	38,593	38,325	31,081	1,261	2.47	
26年	76,341	38,275	38,066	31,234	1,251	2.44	
27年	76,676	38,262	38,414	30,205	1,257	2.54	※2
28年	75,666	37,946	37,720	31,524	1,241	2.40	※3

※1：住民登録人口（4月1日） ※2：国勢調査人口（10月1日）

※3：住民基本台帳（4月1日） その他は、住民基本台帳（10月1日）

## (2) 人口集中地区 (D I D)

昭和 35 年から国勢調査で設定された区域で、ヘクタール当り 40 人以上の基本単位区が互いに隣接して人口が 5,000 人以上となる地区に設定される。

年次	面積 (ha)	人口 (人)	人口密度 (人/ha)	年次	面積 (ha)	人口 (人)	人口密度 (人/ha)
昭和 35 年	260	23,462	90.24	平成 2 年	820	34,718	42.3
昭和 40 年	300	24,857	82.9	平成 7 年	960	38,154	39.7
昭和 45 年	370	25,367	68.6	平成 12 年	885	37,913	42.8
昭和 50 年	510	27,382	53.7	平成 17 年	886	37,747	42.6
昭和 55 年	530	26,355	49.7	平成 22 年	938	38,851	41.4
昭和 60 年	700	31,910	45.6				

## 都市計画区域

## (1) 都市計画区域の変遷

指定又は変更年月日	面積	摘要
昭和 11 年 5 月 9 日	4,891 ha	旧館林町、旧郷谷村、旧六郷村、旧多々良村、旧赤羽村、旧渡瀬村の全域
昭和 29 年 4 月 1 日	6,083 ha	市制施行により変更 (市全域)
昭和 45 年 5 月 25 日	6,083 ha	首都圏整備法に基づく都市開発区域指定 (市全域)
昭和 45 年 12 月 22 日	17,359 ha	館林市 6,083 ha ・板倉町 4,135 ha 明和町 1,914 ha ・千代田町 2,180 ha 邑楽町 3,047 ha
昭和 63 年 10 月 1 日	17,537 ha	館林市 6,097 ha ・板倉町 4,184 ha 明和町 1,967 ha ・千代田町 2,176 ha 邑楽町 3,113 ha
平成元年 11 月 10 日 (国土地理院公表により面積更生)	17,537 ha	館林市 6,098 ha ・板倉町 4,184 ha 明和町 1,967 ha ・千代田町 2,176 ha 邑楽町 3,112 ha
平成 3 年 5 月 28 日 行政課より通知 (平成 2 年 10 月 1 日 国土地理院公表により面積更生)	17,537 ha	館林市 6,098 ha ・板倉町 4,184 ha 明和町 1,967 ha ・千代田町 2,176 ha 邑楽町 3,112 ha
平成 27 年 3 月 30 日 行政課より通知 (平成 26 年 10 月 1 日 国土地理院公表により面積更正)	17,531 ha	館林市 6,097 ha ・板倉町 4,186 ha 明和町 1,964 ha ・千代田町 2,173 ha 邑楽町 3,111 ha

## 市街化区域及び市街化調整区域〔区域区分〕

## (1) 線引きの状況

年次	説明	都市計画区域 (ha)	市街化区域 (ha)	市街化調整区域 (ha)
昭52. 8. 31	(当初決定)	6,083 (100)	1,516 (24.9)	4,567 (75.1)
昭60. 5. 31	① (定時変更)	6,083 (100)	1,516 (24.9)	4,567 (75.1)
平元. 11. 10	A (面積更正)	6,097 (100)	1,516 (24.9)	4,581 (75.1)
平3. 1. 11	② (定時変更)	6,097 (100)	1,568 (25.7)	4,529 (74.3)
平3. 5. 28	B (面積更正)	6,098 (100)	1,568 (25.7)	4,530 (74.3)
平6. 9. 9	③ (随時変更)	6,098 (100)	1,599 (26.2)	4,499 (73.8)
平7. 7. 21	④ (随時変更)	6,098 (100)	1,604 (26.3)	4,494 (73.7)
平11. 8. 24	⑤ (定時変更)	6,098 (100)	1,654 (27.1)	4,444 (72.9)
平21. 8. 11	⑥ (定時変更)	6,098 (100)	1,664 (27.3)	4,434 (72.7)
平22. 8. 24	⑦ (随時変更)	6,098 (100)	1,682 (27.6)	4,416 (72.4)
平27. 3. 30	C (面積更正)	6,097 (100)	1,682 (27.6)	4,415 (72.4)
平27. 6. 16	⑧ (定時変更)	6,097 (100)	1,691 (27.8)	4,406 (72.2)

( ) 内は、%構成比

## (2) 上記説明区分の内容

番号	変更年次	変更内容
①	昭60. 5. 31	ア. 新たに市街化区域に編入した区域 (6ha) 分福町 (旧大字青柳の一部) 及び大字堀工の一部 イ. 市街化調整区域に編入した区域 (6ha) 大字堀工の一部 (逆線引き)
A	平元. 11. 10	平成元年11月10日行政課より通知 (国土地理院公表により面積更正)
②	平3. 1. 11	新たに市街化区域に編入した区域 (52ha) 大島町の一部 (館林東部工業団地)
B	平3. 5. 28	平成3年5月28日行政課より通知 (平成2年10月1日国土地理院公表により面積更正)
③	平6. 9. 9	新たに市街化区域に編入した区域 (31ha) 北部第二工業団地 11.7 ha (北部第二工業団地) 野辺流通団地 18.9 ha (野辺流通団地) 計 30.6 ha

番号	変更年次	変 更 内 容
④	平 7. 7. 21	新たに市街化区域に編入した区域 (5.4ha) 大谷町、赤土町の一部 (西部住宅団地)
⑤	平 11. 8. 24	新たに市街化区域に編入した区域 (50ha) 富士原町、赤土町、 近藤町の一部 34.0 ha (西部第二土地区画整理) 花山町の一部 16.1 ha (花山区画整理事業) 計 50.1 ha
⑥	平 21. 8. 11	新たに市街化区域に編入した区域 (9.8ha) 足次町及び下早川田町の各一部 (渡瀬南部地区)
⑦	平 22. 8. 24	新たに市街化区域に編入した区域 (18.3ha) 下早川田町の一部 (北部第三地区)
C	平 27. 3. 30	平成 27 年 3 月 30 日行政課より通知 (平成 26 年 10 月 1 日国土地理院公表により面積更正)
⑧	平 27. 6. 16	新たに市街化区域に編入した区域 (9.3ha) 羽附町、赤生田町、上赤生田町の一部 (赤生田地区)

## 用途地域

決定又は 変更年月日	面積 (ha)	用途別面積 (ha) (容積率/建ぺい率)	摘要
S 33. 3. 18	700. 7 4 地域 ※(4 地域)	住居地域 (-/60) 416. 24 商業地域 (-/70) 33. 53 準工業地域 (-/60) 181. 93 工業地域 (-/60) 69. 00	当初決定
S 36. 3. 26	822. 91 4 地域 ※(4 地域)	住居地域 (-/60) 465. 66 商業地域 (-/70) 38. 91 準工業地域 (-/60) 249. 34 工業地域 (-/60) 69. 00	大街道、当郷、松原の一部 変更
S 48. 12. 20	823. 0 7 地域 ※(8 地域)	第一種住居専用地域 276 (80/40) 第二種住居専用地域 123 (200/60) 住居地域 (200/60) 229 近隣商業地域 (200/80) 70 商業地域 (400/80) 42 準工業地域 (200/60) 65 工業地域 (200/60) 18 工業専用地域 (-/60) -	都市計画法・建築基準法の 改正による新用途地域への 切り替え決定
S 52. 8. 31	1, 516 8 地域 ※(8 地域)	第一種住居専用地域 242 (80/40) 第二種住居専用地域 387 (200/60) 住居地域 (200/60) 476 近隣商業地域 (200/80) 72 商業地域 (400/80) 42 準工業地域 (200/60) 156 工業地域 (200/60) 21 工業専用地域 (200/50) 120	市街化区域及び市街化調整 区域(当初線引き)の決定に よる変更
S 60. 5. 31	1, 516 8 地域 ※(8 地域)	第一種住居専用地域 236 (80/40) 第二種住居専用地域 397 (200/60) 住居地域 (200/60) 472 近隣商業地域 (200/80) <71> (300/80) <1> 商業地域 (400/80) 42 準工業地域 (200/60) 156 工業地域 (200/60) 21 工業専用地域 (200/50) 120	新たに分福町・堀工の一部 を第二種住専(6ha)。分福 町及び堀工の各一部を住居 から第二種住専に変更 (4ha)。堀工の一部を第一 種住専から市街化調整区域 に逆線引き(6ha)。本町四 丁目の一部容積率の変更 20/10→30/10。











決定又は 変更年月日	面積 (ha)	用途別面積 (ha) (容積率/建ぺい率) 【 】内は構成比%	摘 要
H22. 8. 24	1,682 9 地域 ※(12 地域)	第一種低層住居専用地域 230 【13.7】 (80/40) <225> (100/50) <5.4> 第一種中高層住居専用地域 397 【23.6】 (200/60) 第二種中高層住居専用地域 88 【5.2】 (200/60) 第一種住居地域 (200/60) 349 【20.7】 第二種住居地域 (200/60) 92 【5.5】 近隣商業地域 (200/80) <83> (300/80) <1.0> 商業地域 (400/80) 45 【2.7】 準工業地域 (200/60) 185 【11.0】 工業専用地域 (200/50) 212 【12.6】	新たに下早川田町の一部(北部第三地区)を工業専用地域に指定(18.3ha)
H22. 9. 21	1,682 9 地域 ※(12 地域)	第一種低層住居専用地域 230 【13.7】 (80/40) <225> (100/50) <5.4> 第一種中高層住居専用地域 397 【23.6】 (200/60) 第二種中高層住居専用地域 88 【5.2】 (200/60) 第一種住居地域 (200/60) 349 【20.7】 第二種住居地域 (200/60) 84 【5.0】 近隣商業地域 (200/80) <91> (300/80) <1.0> 商業地域 (400/80) 45 【2.7】 準工業地域 (200/60) 185 【11.0】 工業専用地域 (200/50) 212 【12.6】	楠町(楠地区)の一部を 第二種住居地域から近隣商業地域に変更(7.8ha) 第二種住居地域から第一種低層住居専用地域に変更(0.3ha)



## 地区計画

城沼周辺の自然景観を十分配慮した、土地利用を進めて行くために楠地区地区計画を、良好な流通環境を創出するため野辺地区地区計画を、良好な住環境を創出するため西部地区地区計画を、市街化調整区域の住宅団地区域に大島地区地区計画を、市街化調整区域の産業団地区域に谷田川北部地区地区計画を、産業団地区域に渡瀬南部地区地区計画を、医療・防災拠点を整備するため赤生田地区地区計画を決定。

名 称	決定年月日	位 置	面積(ha)	用 途 地 域
楠地区地区計画	(H3. 1. 11 当初) H22. 9. 21 変更	楠町の一部	(約10.8) 約9.7	第二種住居地域、 近隣商業地域
野辺地区地区計画	H 6 . 9. 9	野辺町の一部	約18.9	準工業地域
大島地区地区計画	H 7 . 5. 15	大島町の一部	約 9.9	市街化調整区域 (用途無指定)
西部地区地区計画	H 7 . 7. 21	大谷町及び 赤土町の 各一部	約 5.4	第一種低層住居専用地域
谷田川北部地区 地区計画	H 20. 3. 31	赤生田本町の 一部	約18.8	市街化調整区域 (用途無指定)
渡瀬南部地区 地区計画	H 20. 7. 1	足次町及び 下早川田町 の各一部	約9.5	工業専用地域
赤生田地区 地区計画	H 27. 6. 16	羽附町、 赤生田町及び 上赤生田町 の各一部	約9.3	第一種住居地域、 準工業地域

## 風致地区及び特別緑地保全地区

### (1) 風致地区

名 称	決定年月日	面 積(ha)	建 築 物 等 の 制 限
城沼風致地区	(S33.9.4当初) H 22. 9. 21 変更	(113.88) 122.36	建ぺい率 40%未満 高さ 15m以下
茂林寺風致地区	S 33. 9. 4	33.84	壁面後退 ・道路境界から2m以上 ・隣地境界から1m以上
多々良沼風致地区	(S33.9.4当初) S 40. 1. 14 変更	(129.01) 123.51	
計(3地区)		279.71	

\*第一種低層住居専用地域の区域内の高さ制限は10mとなります。

### (2) 特別緑地保全地区

名 称	決定年月日	面 積 (ha)
茂林寺特別緑地保全地区	S 51. 8. 17	12.0

## 公園・緑地

## (1) 公園

区分	計画決定		供用		供用率 (B)/(A)
	箇所数	A面積(ha)	箇所数	B面積(ha)	
街区公園	26	6.13	20	4.30	70.1%
近隣公園	3	4.20	2	2.80	66.7%
地区公園	—	—	—	—	—
※総合公園	3	280.90	3	186.98	66.6%
運動公園	—	—	—	—	—
風致公園	1	11.90	1	6.00	50.4%
合計	33	303.13	26	200.08	66.00%

※ 多々良沼公園は邑楽町分を含む

## (2) 緑地

区分	計画決定		供用		供用率 (B)/(A)
	箇所数	A面積(ha)	箇所数	B面積(ha)	
緑地	3	0.29	3	0.29	100.0%
緑道	1	0.77	1	0.69	89.6%
合計	4	1.06	4	0.98	92.5%

## 土地区画整理

地区名	施行者	面積 ha	認可公告	施行年度	計画決定	換地処分
南部	市	79.9	S 37. 4. 17	S 37～ 51	S 33. 11. 25	S 47. 2. 1
高根山神脇	組合	1.6	S 54. 9. 4	S 54～ 55	—	S 56. 2. 6
高根	組合	43.3	S 51. 12. 14	S 51～ 58	—	S 58. 3. 1
東部第二	組合	11.4	S 53. 4. 28	S 53～ 61	—	S 60. 9. 3
松原東	組合	1.8	S 62. 1. 13	S 61～H元	—	H元. 11. 30
東部第三	組合	10.9	S 56. 10. 30	S 56～H5	—	H 5. 9. 17
東部	組合	42.7	S 48. 8. 3	S 48～H6	—	H 6. 2. 10
花山	組合	24.3	H 11. 11. 19	H 11～H 23	H 11. 8. 24	H 23. 1. 21
西部第一南	市	73.2	S 61. 9. 27	S 61～H 30	S 60. 6. 21	施行中
西部第一中	市	34.2	H元. 5. 1	H元～H 35	S 63. 4. 30	施行中
西部第二	市	74.7	H 11. 11. 19	H 11～H 36	H 11. 8. 24	施行中
赤生田	—	9.3	—	—	H 27. 6. 16	—

## 下水道計画決定及び供用状況

### (1) 公共下水道

区分	館林市公共下水道			館林市特定公共下水道		
	汚水区域	下水管渠 (m)		処理区域 (ha)	下水管渠 (m)	
全体計画	面積 2,770 ha 人口 62,800 人	汚水	58,403	—	—	
		雨水	19,945			
事業認可	面積 1,140 ha 人口 43,460 人	汚水	33,490	60	汚水	3,650
		雨水	16,410		雨水	—
現況	面積 849 ha 人口 37,352 人	汚水	30,181	60	汚水	3,619
		雨水	12,016		雨水	—

※普及率：処理人口（37,352人）÷区域内人口（77,569人）＝48.15%

※特定公共下水道の下水管渠には、邑楽町を一部含む。

### (2) ポンプ施設

名称	位置	敷地面積			備考
		計画	事業認可	現況	
尾曳汚水中継ポンプ場	尾曳町	1,360 m <sup>2</sup>	1,360 m <sup>2</sup>	1,272 m <sup>2</sup>	
高根汚水中継ポンプ場	高根町	1,170 m <sup>2</sup>	1,170 m <sup>2</sup>	1,170 m <sup>2</sup>	
多々良沼雨水ポンプ場	日向町	—	—	1,095 m <sup>2</sup>	

※敷地面積欄の現況は公有財産台帳数値

### (3) 処理施設

名称	位置	敷地面積			備考
		計画	事業認可	現況	
館林市水質管理センター	堀工町	52,310 m <sup>2</sup>	52,310 m <sup>2</sup>	48,653 m <sup>2</sup>	公共
館林市近藤処理場	苗木町	16,000 m <sup>2</sup>	16,000 m <sup>2</sup>	5,700 m <sup>2</sup>	特定

※敷地面積欄の現況は公有財産台帳数値

## ごみ焼却場

(昭和 61.8.1 操業開始)

名称	決定年月日	面積	処理能力		処理方式	
			都決	現況	都決	現況
たてばやし クリーン センター	(S 59.3.31) H 27.3.30	1.55 ha	100t/24h	100t/16h	全連続燃焼式 ストーカ炉	准連続燃焼式 ストーカ炉

**市 場**

(昭和 61.4.1 開設、平成 21.7.1 民営化)

名 称	決定年月日	面 積	主 要 施 設
館林市総合地方 卸売市場	S 60. 4. 15	1.97ha	卸売場、仲卸売場、冷蔵庫、 倉庫、関連店舗、管理棟等

**汚物処理場**

(昭和 63～H2 建設)

名 称	決定年月日	面 積	処理能力	処理方式
館林環境センター	S 63. 1. 14	1.25 ha	100t/日	高負荷脱窒素方式 高度処理

**参考資料**

## (1) 東北縦貫自動車道

「国土開発幹線自動車建設法」により日本道路公団が整備

総延長 679.4km(埼玉県川口～青森)

群馬県延長 8.3 km(6車線区間 館林市 5.3km、板倉町 1.1km、明和村 1.9km)

供用開始 S 47.11.13 岩槻～宇都宮間に始まり、現在全線供用

## (2) 工業団地

都 市 名	地区名	施行者	面 積 (ha)	都市計画決定
館林市 邑楽町 千代田町	鞍 掛	県	118.3	S 53. 9. 9
館林市	館林東部	県	51.8	H 3. 1. 11

## (3) 火葬場

名 称	区 分	面 積	供用開始	内 容
館林市斎場	火葬関係	1.4ha	S 59. 4. 1	火葬炉 4基×2体/日 チルチング式低圧空気噴霧 火葬炉バーナー方式
	式場関係		H 3. 4. 1	会葬 140席 集会室 18畳×2室



## 都市計画道路決定状況

番号	路線名	基本幅員 (m)	延長 (m)	車線数	当初決定年度 最終変更年度	備考
3・3・1	南部幹線	25 (40.7~18)	8,100	4	S18.9.7 H22.2.5	
3・3・2	駅西通り線	25	550	2	S60.3.8 H27.4.23	館林西口駅前 広場 7,000 m <sup>2</sup>
3・3・3	青柳広内線	25 (44.45~25)	5,370	4	S63.10.21 H11.8.24	
3・3・4	五号線	23.75 (34~12)	6,120		S18.9.7 H7.9.1	
3・3・13	東部環状線	25 (39.2~25)	4,970		H7.9.1 -	
3・3・16	1 2 2 号線	25 (32~23.8)	1,720	4	H9.8.15 H23.7.22	
3・4・5	板倉館林線	16 (31~15.5)	5,110	2	S33.3.18 H11.8.24	
3・4・6	西部二号線	20 (31~20)	4,310		S31.3.26 S63.10.21	
3・4・7	西部一号線	16 (27~16)	4,110	2	S60.3.8 H18.9.1	
3・4・8	西部三号線	16 (27.8~16)	3,290	2	S63.10.21 H11.8.24	
3・4・9	茂林寺中通り線	16 (27.8~16)	2,450	2	S63.10.21 H23.7.22	
3・4・10	高根大街道線	16 (17~16)	420	2	S63.10.21 H18.4.7	
3・4・11	中央通り線	20	1,260		S63.10.21 H6.11.22	
3・4・12	本町通り線	20	330		S63.10.21 -	
3・4・14	館林邑楽線	16 (17~16)	2,570		H6.11.22 -	
3・4・15	大手町大街道線	17	1,340		H6.11.22 -	
3・4・17	南部環状線	20 (21~20)	560	2	H9.8.15 H23.7.22	
3・4・18	館林駅前通り線	20 (20~18)	950		S26.11.27 H6.11.22	館林駅前広場 4,000 m <sup>2</sup>
3・4・23	つつじが岡線	20 (21~20)	1,080	2	H11.8.24 -	
3・4・24	台宿朝日線	16 (17~16)	530	2	S33.3.18 H18.4.7	
3・4・26	岩田岡里線	16 (17~16)	1,330		S56.4.30 -	
3・4・43	富士原線	16	440	2	H11.8.24 -	
3・5・19	藤岡線	11	700	2	S33.3.18 H18.9.1	
3・5・20	公園入口線	12 (17~12)	760	2	S55.8.29 H18.9.1	

番号	路線名	基本幅員 (m)	延長 (m)	車線数	当初決定年度 最終変更年度	備考
3・5・21	公園通り線	12 (15~12)	1,180	2	S55.8.29 H18.9.1	
3・5・22	富士西線	12 (15~12)	1,080	2	S60.2.15 H18.9.1	
3・5・44	学校通り線	13 (16~13)	980	2	H11.8.24 -	
3・5・45	花山線	13 (16~13)	760	2	H11.8.24 -	
合計	28 路線		62,370			